

2024 BUSINESS SCHOOL

講義と自社課題探究の
同時進行で
構想力・遂行力を高める

2024年度 ビジネススクール

講義と自社課題探究の同時進行 経営課題の克服に向けて
構想力・洞察力・遂行力を高める 次世代幹部育成スクール

スクールの
特徴

知的研鑽の場

- ケーススタディーによるグループワークを実施、共通の課題について議論・意見交換し、経営戦略構想力・課題解決力を高めていただく、知的研鑽の場
- リベラルアーツ系講義も開催、高い視座と広い視野を養います

人的ネットワークの構築

- 受講生は、上場企業の部長、副部長、次長クラスが中心
- 開講式・合宿(1泊2日、於大阪市内)・修了式は東西合同開催。交流を深めていただきます
- 1998年に開講し、これまで累計1,090名の方に参加いただきました

メンター制度による経営課題の深掘り(自社課題探究)

- 自社の課題探究では、自社の経営課題の具体的な解決策をまとめたレポートを作成
- レポートの作成にあたっては、経験豊富なメンターが指導・アドバイス(合計4回の個別指導を実施)
- メンター向け最終プレゼンテーション実施後、メンターからの講評を会社と受講生にフィードバック
- 面談日以外でも、スクール会期内はメンターとのメール相談も可能

基本

講義

MBA系知識習得	経営的視座と俯瞰力強化
競争戦略	企業価値を創造する経営
マーケティング戦略	人的資本経営
財務戦略	経営改革とリーダーシップ
コーポレートファイナンス	事業リスクマネジメント
組織人事戦略I (人材マネジメント)	AI&VUCAの時代の イノベーション発想法
組織人事戦略II (エグゼクティブ・リーダーシップ)	新時代のリーダーと リベラルアーツの重要性

講義と企業研究
の同時進行で
構想力・遂行力
を高める

実践

自社課題探究

目的

講義で培った知見を
自社の課題解決に向けて、
深掘りしていきます

指導

- ◆ メンターによる作成指導
約50分/人、合計4回
- ◆ 受講生6~7名につき
メンター1名が担当
- ◆ スクール期間中、
個別指導も実施
- ◆ レポートへのメンター講評も
フィードバック

基本

講義

主任講師



一橋大学
CFO教育研究センター長
伊藤 邦雄氏

講義風景



1951年、千葉県生まれ。1980年3月一橋大学大学院博士課程修了、2015年1月より現職。セブン&アイ・ホールディングス、東レ、小林製薬など数多くの社外取締役を兼任。日本IR学会会長、持続的成長への競争力とインセンティブプロジェクト座長、SDGs経営/ESG投資研究会座長、持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会座長、TCFDコンソーシアム会長、東京証券取引所・企業価値向上表彰審査委員会座長、経済産業省・東京証券取引所「DX銘柄」評価委員長、日本取締役協会「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー」選考委員会委員等の役職も多数。著書に「企業価値経営」、「危機を超える経営」、「新・企業価値評価」「新・現代会計入門」第4版、「次世代リーダー育成塾 経営の作法」(共編著、以上 日本経済新聞出版社)など多数。

■ 自社課題探究の流れ

1回

■ 自社課題探究 仮テーマをグループ内で発表し、検討
※初回はグループ内発表、2回目以降はグループ発表と個人発表を選択

2~3回

■ 自社課題探究 メンターとの面談
※おひとり様50分程度

4回

■ 自社課題探究 メンター向け最終プレゼンテーション

~3月末

■ 自社課題探究 自社内発表実施 3月末日まで

~4月末

■ 自社内発表実施 「報告書」を事務局に提出
■ メンター講評をフィードバック

■ 自社課題探究 これまでの研究テーマ

分野	業種	研究テーマ
経営戦略	製造業	M&Aによる事業拡大(その方法と組織運営について)
	サービス業	有効な経営目標としての「中期経営計画のあり方」について
マーケティング戦略	製造業	コーポレートブランド向上の施策
	サービス業	販売チャネルの脆弱性を踏まえた今後の方向性の検討
組織・人事戦略	製造業	企業価値を向上させる人材育成について
	サービス業	新規事業開発に向けたグループ組織戦略とイノベーションの創出

■ 自社課題探究指導メンター



横浜市立大学
理事・副学長
教授
中條 祐介氏

ミドルマネジメントとして経験を積まれた皆さんが、ミドルを超えた存在となるためには、経営知識を使える知恵へ展開する作業が不可欠です。この作業が自社課題探究です。メンターとしてサポートさせていただきます。

略歴

一橋大学大学院博士後期課程単位修得退学後、横浜市立大学専任講師、助教授、教授を経て、2014年4月より国際総合科学部長。2019年4月より理事・副学長。この間、日本会計研究学会理事、日本IR学会副会長、東証、財務会計基準機構、総務省などで制度設計にかかわる一方、公認会計士試験、日本証券アナリスト検定試験の試験委員を歴任。著書に「連結会計とグループ経営」、「会計学の手法」(ともに中央経済社)など。



一橋大学
大学院 経営管理研究科
教授
野間 幹晴氏

マネージャーからリーダーへ自己革新するため、社内外に公私を融合したネットワークを構築するため、自社ひいては日本企業の競争力に磨きをかけるために、深く広く議論しましょう。ご一緒できることを楽しみにしています。

略歴

一橋大学商学研究科博士後期課程修了、博士(商学)取得。横浜市立大学商学部を経て、2004年より一橋大学国際企業戦略研究科助教授、2007年より同准教授、2018年より一橋大学大学院経営管理研究科准教授、2019年より現職。2010年から11年までコロンビア大学ビジネススクールアルブライト研究員、日本調剤社外取締役、グッドコムアセット社外取締役、ナイス社外監査役。著書に「退職給付に係る負債と企業行動」(中央経済社)・2020年度、第63回日経・経済図書文化賞)など多数。



慶應義塾大学
大学院政策メディア研究科 特任教授
株式会社横田アソシエイツ
代表取締役
横田 浩一氏

自社の経営課題、戦略を改めて考えることで、日頃悩んでいたことについて俯瞰的に捉え、少し高い視点から仕事をするができるようになります。共に議論し、いい答えを出せたらと考えています。

略歴

早稲田大学卒業、日本経済新聞社を経て2011年より横田アソシエイツ代表取締役、2015年より慶應義塾大学特任教授。若手県金石市アドバイザー企業のブランディング、マーケティング、イノベーション、HRM分野などのコンサルティングや社員教育と共に、SDGsや地方創生に携わる。著書に「SDGsの本質」「デジタル・ワークス」[「明日はビジョンで拓かれる」]「愛される会社の作り方」[「ソーシャル・インパクト」]など多数。



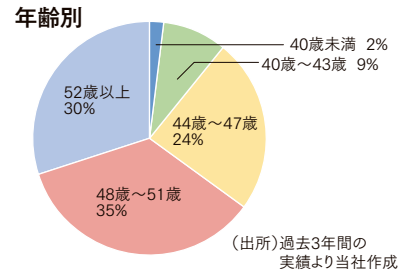
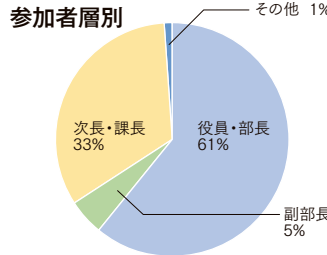
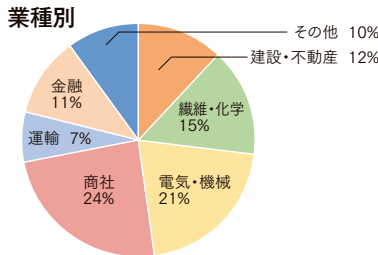
公益社団法人日本
マーケティング協会
「サステナブル・ブランディング講座」
講師
細田 悦弘氏

時代が求める新しい経営のあり方を踏まえ、持続的成長・中長期的な企業価値向上に向けた「自社の課題」を深掘りします。日常より一段高い視点を意識しつつ、一緒に実りある議論ができるのを楽しみにしています。

略歴

中央大学法学部卒業。キャンノンマーケティングジャパンにて、マーケティング・宣伝及びブランドマネジメントを担当後、CSR推進部長を務める。ブランドやサステナビリティに関する社内啓蒙や社外のセミナー講師の実績豊富。現在は、企業や教育機関等での講演・講義と共に、企業ブランディングやサステナビリティ分野のコンサルティングに携わる。著書に「選ばれ続ける会社とは」[「企業ブランディングを実現するCSR」(ともに産業編集センター)刊]など。

■ 受講生区分



■ 派遣責任者の声

受講者が経営リーダーとしての視野を広げること、異業種交流ならではの気づきを得ることを目的として参加しています。他社のトップ人材と研鑽し合いながら自社研究を深めていくため、非常にタフな内容ですが、受講者にとっては、あらためて自分らしいリーダーシップとは何かを見つめなおす貴重な機会となっています。(C社)

当社では2004年度より毎年、経営幹部候補を複数名派遣し、経営戦略構築力及び課題解決力向上の他、マネジメント能力を研鑽する機会としています。受講生からは、議論を通じてOUTPUTを出すプロセスが勉強になった、研究を通して様々な分析・アイデアを共有できた、異業種の新たな仲間と生涯にわたる絆を築くことが出来た、等の感想を受けています。多くの受講生が経営層となり期待通りの成果に繋がっています。(D社)

ビジネススクールには部長クラスを中心に若手の次世代幹部候補を参加させています。自らの課題を再認識する良い機会であり、グループワークを通じて参加者の方と交流を深めることも出来ます。同じ研修を継続的に受講することで社内に共通の考え方や認識が醸成できればと期待しています。(A社)

ビジネス環境が変化していく中、次世代リーダー育成は重要な課題であり、経営戦略面での中核的存在となる人材育成が必要不可欠です。本スクールは、自社課題・戦略を具体的に探究し、メンターのサポートを通じて高度なスキル向上に繋がると確信しています。また、異業種交流をすることで多くのことを学べる場と考えてます。(B社)

■ 受講生の声

異業種の受講者との自社課題探究は驚きの連続でした。様々なバックグラウンドと経験に基づく指摘にはハッとさせられることが多く、刺激を受けると共に貴重な学びを得られました。自分や自社の殻を破り、開かれた視点や視座を与えてくれた本スクールは大変有益でした。受講生との交流は今後も続けていきたいと考えております。(E社)

様々な業界から集まる受講生との討議やグループワーク、自社課題探究を通じて自社の置かれた環境や今後やるべき課題につき全体を俯瞰しながら見つめ直す事が出来た。本スクールで学んだ考え方や手法、判断基準は、いわば経営思考・判断の貴重な疑似体験であり、ビジネスで様々な判断が求められる際の大きな指針となっている。(F社)

■ 2023年度参加企業実績

SGホールディングス(株)、(株)大林組、京都機械工具(株)、クオリカ(株)、(株)クラレ、クリエイト(株)、サンワテクノス(株)、タキロンシーアイ(株)、西華産業(株)、積水化成成品工業(株)、積水ハウス(株)、双日(株)、象印マホービン(株)、(株)高島屋、東洋電機製造(株)、戸田建設(株)、(株)中山製鋼所、日清紡ホールディングス(株)、(株)日本政策金融公庫、阪急阪神ホールディングス(株)、日立造船(株)、(株)三菱UFJ銀行、(株)メタルワン、ユニチカ(株)

■オプション企画(オンラインセミナー)概要

DX推進のプロから考え方を学び、
実際にアイデアを考えてみます。



日 程: 2024年11月14日(木)午後6時~8時15分
テ ー マ: 事業創造におけるデジタル技術の活用法
~成熟した組織におけるDXの効果的な進め方~
形 式: オンラインLIVE形式(Zoom利用予定)
受 講 料: 無料 (左記は受講生のみ適用)
本セミナーには受講生以外も参加可能です(通常価格適用)。
講 師: 株式会社ビタリー 代表取締役 片倉 健氏

【経歴】

DX推進プラットフォーム「IX(ナイン)」の開発を行う株式会社ビタリー代表取締役CEO、
慶應義塾大学経済学部卒業後、外資系コンサルティング企業のアクセンチュア、経営支援・
M&Aアドバイザー企業のプロンティア・マネジメントの経営戦略コンサルタントを経て、
ビジネス書籍の要約サイト「Flier」を共同創業、同社退職後、ビタリーを共同創業。

【主なプロジェクト支援の実績】

人工知能を活用したHRサービス(SaaS)の開発、決済アプリケーションの企画・開発、製薬業界向けSaaSの企画検討、シニア向けSNSの開発、地域活性化事業の検討、インバウンド向けマーケティングサービスの企画開発、ハードウェア運動型SaaSの検討など、多数のDX・新規事業プロジェクトの企画立案・事業性検証・開発運用を支援。著書「未来市場2019-2028」(日経BP社)

セミナーの狙い

今や「DXの推進」は、かつての「グローバル化」と同じように、最優先の経営課題といえます。DXを効果的に推進すれば、より少ない経営資源で、より多くの成果を生み出すことができます。しかし、DX施策の実施に伴う合意形成は、特に成熟した企業においては容易ではありません。このセミナーでは、事業創造領域を中心にDXをよりシンプルに、組織で機能的な形で検討する方法論をワーク形式で共有します。

カリキュラム

- DX推進のための考え方を学ぶ
 - ・なぜ頓挫してしまうのか?多くの企業がぶつかるDX推進の壁
 - ・アイデア立案から社会実装までに必要なステップとは
 - ・一文の事業仮説でOK!アイデア立案の方法 ・優れた仮説の条件
- アイデア立案~社会実装ステップを検討する(ワーク)
 - ・アイデア立案するための土壌を整える
 - ・事業仮説を表現する「一文フレームワーク」を活用してアイデアを出す
 - ・海外事例のトレンドからキャッチアップする

事例を活用しながら実践で使える会計を
基礎からきっちり習得できます。



日 程: 2024年8月22日(木)午後1時~5時
テ ー マ: 「4時間でわかる決算書の見どころ・勘どころ」
形 式: オンラインLIVE形式(Zoom利用予定)
受 講 料: 無料 (左記は受講生のみ適用)
本セミナーには受講生以外も参加可能です(通常価格適用)。
講 師: 望月公認会計士事務所 代表 公認会計士 望月 明彦氏

【経歴】

早稲田大学政治経済学部卒業。(株)大和銀行(現(株)りそな銀行)を経て、監査法人トーマツに入所。法定監査業務に加えて、金融機関の自己査定導入指導を行う。その後、上場企業での戦略本部長、経営企画部長、アーンスト・アンド・ヤング(日本法人)でのフィナンシャル・アドバイザー業務を経て、2010年望月公認会計士事務所を設立。日本公認会計士協会東京会研修委員会副委員長(2010年~2014年)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)。

【著書】

「経営判断に役立てるための管理会計の使い方」「ライブに差をつけたい経理マンのための交渉術」(ミロク情報サービス)など

セミナーの狙い

本セミナーは、決算書・会計の基礎知識を身につけたい皆さまを対象に、ビジネスの現場で困らない・すぐに役立つ会計知識を4時間でマスターしていただく、会計入門セミナーです。ビジネスの現場でよく耳にする「会計用語の意味」と「決算書の種類・入手方法」から、決算書の簡単な「分析手法」といった与信管理に役立つ基礎的なスキルを、決算書・会計の基礎知識から、具体的な事例を交え、わかり易く解説いたします。会計初学者の方でも、明日からのビジネスシーンで自信をもって会話ができるようになる知識と、取引先や競合他社の財務状況の把握により、危険な動きを察知する眼を養うセミナーです。講師は丁寧で、わかり易い説明が好評の望月明彦氏です。

カリキュラム

- 「決算書」の基礎知識
- P/L(損益計算書)はここを見る! ●P/LとB/Sを分析してみる!
- B/S(貸借対照表)はここを見る! ●演習 決算書を読んでみよう!

■開催概要

開催期間	開講日 2024年8月17日(土) 修了日 2025年2月22日(土) 原則隔週土曜日 9:30~17:30 ※一部別時間帯。詳細はスケジュール参照	対象者	東証プライム・スタンダード上場企業 (もしくはそれに準ずる企業) の部長・副部長・次長クラス
	会場	東京校・大阪校 弊社セミナー室 ※東京校・大阪校間の振替受講も可能	定員
			参加費

■お申込み注意事項

- 【振替受講】 各開催日にやむなく欠席される場合には、事前にお知らせ頂ければ、東京受講生が大阪会場に参加したり、その逆での参加も可能です。
- 【安全確保】 災害等の状況次第では、合宿を含む一部講義をオンラインLIVE配信での開催に切り替えます。その際に一部カリキュラムを変更させていただく場合がございます。また開講パーティー、修了パーティー等を中止させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 【その他】 講座運営に支障が生じると判断される場合には、ご参加をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。記載内容は2023年11月時点のものです。今後変更となる可能性がございます。ご不明な点は下記お問合せ先までご照会ください。

会場・お問合せ先 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 ビジネススクール事務局

東京校

担当:伊藤・棚網

〒105-8501
東京都港区虎ノ門5-11-2
オランダヒルズ森タワー24F

TEL:03-6733-1059
Eメール:bizs@murc.jp

●東京メトロ日比谷線「神谷町駅」1番出口より徒歩2分

大阪校

担当:三好・安藤・古谷

〒530-8213
大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKAオフィスタワー19F

TEL:06-7637-1410
Eメール:bizs-osk@murc.jp

- JR「大阪駅」桜橋口より徒歩約6分
- 阪神「大阪梅田駅」西改札より徒歩約6分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」北改札より徒歩約6分

※各校ともにテレワーク主体にシフトしております。代表電話が通じない場合は、
極力Eメールでご照会いただきますようお願いいたします。



10821729